

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川 西 市 社 会 教 育 委 員 の 会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成17年2月23日(水)9時45分～11時40分		
開 催 場 所	川西市役所 5階 502会議室		
出 席 者	委 員	規矩議長、森副議長、正親委員、敷地委員、小柳委員 後藤委員、武村委員、佐道委員、白石委員 計 9名 竹中委員欠席	
	そ の 他		
	事 務 局	小山部長、佐久室長、雪岡中央公民館長、横田主幹 山川課長、大田課長補佐 計 6名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 開会 2. 報告 1) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について 2) 兵庫県社会教育委員協議会役員会について 3) 阪神北地区社会教育委員協議会第4回役員会について 4) 阪神地区公民館運営審議会委員連絡協議会研修会について 3. 議題 1) 年間テーマ「よりよい地域教育システム作り」(第6回)について 4. 閉会		
会議結果	別紙のとおり		

1. 開会あいさつ

(規矩議長)

(小山部長)

2. 報 告

1) 阪神北地区社会教育委員協議会第2回研修会について

平成17年2月7日(月) 川西市生涯学習センター

規矩議長、後藤委員、武村委員、正親委員説明

2) 兵庫県社会教育委員協議会役員会について

平成17年2月10日(木) 六甲荘

事務局説明

3) 阪神北地区社会教育委員協議会第4回役員会について

平成17年2月21日(月) 川西市役所

森副議長説明

4) 阪神地区公民館運営審議会委員連絡協議会研修会について

平成17年2月4日(金) 小野市中央公民館・姫路市立美術館

3. 協 議

1) 年間テーマ「よりよい地域教育システム作り」(第6回)について

(規矩議長) 今回が最終回になりますが、コーディネーター(人材)をどのように見つけるか。どんな情報を収集し、どこで発信していくのか。どのような形で場を提供できるのか。3点に絞ってまとめていきたいと思います。この問題と生涯学習計画とをどのように結びつけていくか考えていきたいと思いますが、行政の方ではどうお考えですか。

(佐久室長) 今年のテーマになつております地域教育システム作りは範囲が

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

広く、また、関連している生涯学習計画も10年間で具体化していくようになっていますが、非常に難しく、他機関、組織との連携も図っていかねばなりません。中身につきましても、有料化の問題、市民とのパートナーシップなども含まれ、情報の提供もしていかねばなりません。今後、中間的なまとめも必要だと考えています。

(規矩議長)モデルプランを考えられませんか。今は市民が相談できる場所がありません。色々な分野において、色々な年齢層であっても対応が出来るような1つのモデルとして作ることが出来ればいいのですが。

(小柳委員)相談者も1つの方法として、今までに色々な分野で受講された方に呼びかける方法もあります。市民と繋がりがもてるように行政が働きかけてもらえればいいと思います。

(後藤委員)相談者として出てくる人は、積極的な人が多いと思います。

(規矩議長)中核として生涯学習センターも考えられますが、人数も少ないので難しいでしょうね。

(雪岡館長)公民館としても情報を発信していますが、公民館活動団体だけで、多岐にわたるようなことはなかなか出来ません。

(森副議長)公民館としても、多岐にわたる情報を共有し、提供できるようになればいいのですが。

(佐道委員)何かをやりたいときに、情報がもらえるようになればいいですね。

(規矩議長)色々な教室でも中身までわかるようになれば、入りたい人もハッキリと判断出来ます。選択の幅も広がってくると思われそうですが。

(敷地委員)色々な所で情報をもらえますが、市としても一本化できないのでしょうか。

(小山部長)生涯学習センターがキーとなってやるべきであると考えており、方策を検討しています。

(規矩議長)実は、ある団体で学習だけでなくコーディネーターの育成など色々活動したいが、どこに行けばいいのかわからないとの話があった。そのような方にも情報が得られるような場の提供が必要です。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

（森副議長）情報の共有が必要です。そのためにもシステム作りが大事です。

（規矩議長）情報の共有をしていくためには学校との繋がりが重要です。

（白石委員）もっと人材バンクを作るように言われていますが、需要と供給のバランスがうまくいきません。人材バンクを作っても活用が出来ません。地域から学校に来ていただいている人が700何十人かいます。また、トライアルウィークでも2万箇所にも協力してもらっています。そういう繋がりを大事にしていきたいと思っています。

（雪岡館長）人を選ぶのも人伝に聞いた人は安心できますが、直接来る人はまったく中身がわからないので、講話をしてもらうのも非常に不安な面があります。

（佐久室長）趣味、教養を今後とも行政が取り上げていく必要があるのか、行政課題か、地域課題か分けていく必要があります。

（規矩議長）完璧なものは直ぐには出来ないだろうし、実行出来ないうちに終わってしまうだろうし、とりあえず1つずつでも手をつけていくことが出来ないでしょうか。

（武村委員）コミュニティでうまくいっている所もありますが、うまくいっていない所もあります。それを把握しているところはどこなのでしょう。

（白石委員）地域が情報の場であり、色々なことを包含しています。

（規矩議長）地域作りが出来ていれば、自然にシステム作りも出来てきます。来年度に向けて違った形で話しを進めていければいいと思います。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。